South Dakota

サウスダコタ州トラベルガイド

マウントラッシュモア国立メモリアルで
岩山に彫られた４人の大統領の巨大な顔を眺めてみよう
きっとアメリカの本当の魅力が見えてくる

© Osamu Hoshino

サウスダコタ州マウントラッシュモアの岩山に彫られた４人の大統領の顔

マウントラッシュモアに刻まれた “アメリカの理念”

アメリカのもうひとつのシンボル

サウスダコタ州マウントラッシュモアの岩山に掘られた４人の大統領の顔は、アメリカ国民にとってのシンボルであり、誇りである。ジョージ・ワシントン、トーマス・ジェファーソン、セオドア・ルーズベルト、アブラハム・リンカーンの４人の大統領が、なぜシンボルとして選ばれたのだろうか。

写真・文／星野 修

一般的なアメリカ人が認めるふたつのシンボル

世界中どの国にもその国の象徴があり、国民はそれを誇りとしている。アメリカのシンボルと言えば、まず誰もが納得するのがニューヨークの「自由の女神」である。そしてアメリカ国民はそれに誇りをもっている。

「自由の女神」は、マンハッタンの先端から約３キロメートル先のニューヨーク湾に浮かぶリバティ島に立っているが、この像はアメリカの「自由と民主主義」を称えて、そのシンボルとしてフランスから贈られたものである。

「自由の女神」はおもしろいことに自国に向かって立っていない。自国を背にして大西洋に向かって自由のトーチを掲げている。まるで新天地を求めてくる人々に「ここには自由があるのだ」と歓迎しているようだ。

私が初めて「女神」を見たのは40歳近くになった時だった。マンハッタンからフェリーに乗ってリバティ島に渡り、拝謁した。一番記憶に残っているのは、下から見上げた時のトーチを掲げる女神の腕の太さであった。あれは実に太い。自由を世界に伝える「たくましさ」を感じた。

「自由の女神」は、アメリカのシンボルと同時に、世界に向けての「自由」のシンボルである。

アメリカにはもう一つのシンボルがある。マウントラッシュモアである。正確には、マウントラッシュモア国立メモリアル（記念碑）と言って、４人の大統領が岩山に掘られている。

アメリカ人はこのマウントラッシュモアを愛してやまない。これは世界に向ける自由のメッセージではなく、これこそが一般的なアメリカ国民が認めるシンボルではないかと思う。

マウントラッシュモアは、日本人でも必ずどこかで目にしている。英語の教科書やテレビのコマーシャルや雑誌などにも出てくる。しかし、「マウントラッシュモア」という呼び名は浸透していない。「岩山に刻まれた４人の大統領だ」と言えば誰しもが「ああ、あれですか」と答えるが、一般的に「マウントラッシュモア」という名称やそれがどこにあるのか、また、あの４人の大統領の名前を言える人は少ない。

岩山に刻まれた４人の大統領が選ばれた理由

マウントラッシュモア国立メモリアルは、サウスダコタ州西部のラピッドシティから車で約45分の所にある。４人の大統領の名前は向かって左から、アメリカ初代大統領ジョージ・ワシントン、次いで３代大統領トーマス・ジェファーソン、３人目は26代大統領セオドア（テッド）・ルーズベルト、そして一番右が16代大統領アブラハム・リンカーンである。

では、なぜこの４人が選ばれたのだろうか。その理由を調べてみるとマウントラッシュモアがまさにアメリカ人の心に浸透したシンボルだとわかる。この４人の大統領は、アメリカ合衆国の理念を実行し、今のアメリカの基礎をつくり上げたと言っても過言ではない。

まず、ジョージ・ワシントンであるが、アメリカでは彼のことを「アメリカ建国の父」と呼ぶ。

アメリカの独立は並大抵のことではなかった。それには「自由」と「民主主義」を勝ち取るために多くの人々の命と共に大いなる犠牲が伴った。

しかし、アメリカは古き配下から独立を勝ち得るのである。そしてジョージ・ワシントンの指揮の下、新たなる国づくりがなされた。「民主主義」を実践する国が生まれたのである。

トーマス・ジェファーソンは、アメリカ合衆国を物理的に大きくすることに貢献した。独立当時のアメリカは、いまのアメリカの４分の１にも満たない小さな国であった。ここに記した地図は、１８０３年、アメリカが独立して27年後のものであるが、オレンジ色で示された13州以外のほとんどの土地は英国領（薄緑色）、フランス領（濃い緑色）、そしてスペイン領（茶色）であった。

当時、現在のアメリカのほぼ中央にある広大な穀倉地帯（地図の濃い緑色にあたる部分）をルイジアナと呼んでいた。ただし、このルイジアナは、今で言うルイジアナ州ではない。

当時のアメリカ合衆国は、安定した国づくりのために、もっと広大でしかも肥えた土地が必要だった。そんな中、トーマス・ジェファーソンはフランス領であったルイジアナを、ナポレオンから当時のお金にして１５００万ドルで買ったのである。これをアメリカ史では、「ルイジアナ買収」と呼ぶ。

「ルイジアナ買収」は、合衆国の国土を一気に倍以上にした。これにより、後の西部への開拓が進められ、アメリカは広い国土を持つ大国に変わっていくのである。

また、後に英国領であった地域や、スペイン領であった地域も手にしていった。アメリカ合衆国を物理的に大きくし、根本的な基盤をつくりあげたのが、トーマス・ジェファーソンである。

次はいちばん右のリンカーン大統領について話そう。16代大統領がこの国に貢献したことは、誰しもが知るところではないだろうか。

「民主主義」の根本は「人は生まれながらにして皆平等である」を掲げる。そしてその「人権」たるものを強く熱く説き、基盤をつくったのがアブラハム・リンカーンで、彼の「奴隷解放」はあまりにも有名である。アメリカは世界に先駆けて、民主主義の源である「基本的人権」を法律で定め、それを実行した国である。

アメリカの自由と民主主義の象徴「自由の女神」

様々な国が分割して領有していたことがわかる当時のアメリカの地図

マウントラッシュモアはアメリカの理念のシンボル

今まで話した３人の大統領は、こうした優れた理由から躊躇することなくアメリカのシンボルとして岩山に刻まれることが決まったが、最後の４人目の選出には時間がかかったようだ。しかし、最終的に選ばれたセオドア・ルーズベルトも納得できる貢献をしている。

ルーズベルトは若い時からあらゆる公職に就いた。主なものはニューヨーク州知事、後にマッキンリー政権の副大統領となる。そしてマッキンリー大統領が暗殺された後、42歳の若さで大統領となった。アメリカ史上、最も若くして大統領になった人である。また彼は国際派でもあり、アメリカの大統領として初めて海外に出た人である。

ルーズベルトの合衆国への最大の貢献は、パナマ運河の建設ではないだろうか。これには賛否両論があるが、パナマ運河の建設により、アメリカが大いなる経済力をつけたことは間違いない。

当時、アメリカの東海岸と西海岸の間の物資の輸送は、船に頼ることが多かった。もちろん北極は回れないので唯一の手段として、遠く南米の最南端、マゼラン海峡を経由するしかなかった。

この長い航路に費やされたお金と労力は想像を絶するものがある。パナマ運河の建設は、物流の時間を短縮し、アメリカに大きな経済効果をもたらし、そして世界経済の発展にも貢献した。

アメリカ国民にとってのマウントラッシュモアの意義は深い。そこには「独立国家の建設」「国土の拡張と維持」「人権の擁護」そして「経済大国の樹立とその繁栄」の精神が込められているからである。これら４つを基盤に今のアメリカがある。

アメリカ国民は、「自由」を世界に伝えるシンボルと同時に「自由の国」を支えている原則と理念のシンボルを岩山に彫り、それを誇りにし、大切にしている。

アリゾナ州のツーソンに行った時、ふとのぞいたギフトショップに１００万ドル（約１億２千万円）の紙幣があった。それを1ドルで売っていた。もちろんおもちゃだが、もしや本物ではないかと思うほど、大変よくできていた。私も遊び心で10枚買って億万長者になった。この「夢のお札」をよく見ると、表には「自由の女神」が中央の円の中に描かれ、裏には4人の大統領の「マウントラッシュモア」が描かれている。アメリカを象徴する２つが、こんなところにも顔を出す。

アメリカ初代大統領
ジョージ・ワシントン

第３代大統領
トーマス・ジェファーソン

第26代大統領
セオドア・ルーズベルト

第16代大統領
アブラハム・リンカーン

ギフトショップで見つけた玩具の100万ドル紙幣。紙幣の裏表には、「自由の女神」と「マウントラッシュモア」ふたつのアメリカのシンボルが印刷されている

City of Presidents・大統領たちの街

サウスダコタ州ラピッドシティ

ラピッドシティを拠点とするブラックヒルズの旅

岩山に彫られた 4 人の歴代アメリカ大統領で有名なマウントラッシュモア国立メモリアルを筆頭に、大型の観光スポットに恵まれたラピッドシティ。アメリカ国内はもとより世界中から年間400万人もの観光客が訪れます。治安が良くてフレンドリーな人々が暮らすラピッドシティを拠点とする、素敵な旅のご紹介です。　　写真／星野 修

ブラックヒルズのゲートウェイ

ラピッドシティはサウスダコタ州の南西に位置する街で人口約6万8千人、スーフォールズに次いで州内2番目に大きな街です。

海原のように広がる大平原に、まるで島のようにたたずむ森林に覆われた山脈、それがラコタ・スー族が『Paha Sapa（黒い山）』と呼び、聖地と崇めるブラックヒルズです。このブラックヒルズで1874年に金が発見されて、ゴールドラッシュが起こりました。それから2年後、大平原とブラックヒルズの山の境にラピッドシティが誕生し、ブラックヒルズのゲートウェイとして、また物流の拠点として発展してきました。

大統領の街・ラピッドシティ

現在のラピッドシティはとてもユニークな街として変貌を遂げています。中でもこの街を有名にしているのは、ダウンタウンの交差点ごとに見かける、歴代42人の大統領の像です。それぞれの大統領のイメージを忠実に再現した等身大の像からは、その人柄もうかがえます。例えば、子供好きで有名だったジョン・F・ケネディは、子供の手を引いています。『大統領たちの街』という世界唯一のニックネームもうなずけます。（📷①～②）

The City of Presidents
Historic Downtown Rapid City

9th ST.／8th ST.／7th ST.／6th ST.／5th ST.／4th ST.／MT. RUSHMORE RD.／MAIN ST.／ST.JOSEPH ST.

James Buchanan／Teddy Roosevelt／John F. Kennedy／Martin Van Buren／John Quincy Adams／John Adams／Herbert Hoover／Franklin Roosevelt／Ulysses Grant／James Garfield／Abraham Lincoln／Franklin Pierce／Andrew Jackson／Lyndon Johnson／William Howard Taft／James Monroe／Presidents Info.Center／George Bush Sr.／Calvin Coolidge／Chester A.Arthur／William Mckinley／Benjamin Harrison／Warren G. Harding／Zachary Taylor／John Tyler／Harry Truman／James Madison／George Washington／Thomas Jefferson／Dwight D. Eisenhower／Ronald Reagan／Grover Cleveland／James Polk／Rutherford B. Hayes／Woodrow Wilson／Millard Fillmore／William Henry Harrison／Gerald Ford／Bill Clinton／Jimmy Carter／Andrew Johnson／Richard Nixon／George W. Bush

ホテル・アレックスジョンソン
国家歴史登録財であり、街のランドマーク的な存在。最上階のバー『VERTEX』では、ラピッドシティの夜景を眺ながらお酒や軽食が楽しめます。
http://www.alexjohnson.com

プレーリーエッジ・トレーディング&ギャラリー
3 階まで続く広い店内にはネイティブアメリカンの伝統工芸品などのお土産や、芸術作品のギャラリー、そして女子必見の目にも色鮮やかな『ビーズギャラリー』があります。保湿力に優れていると好評のバッファローのあぶらを使ったリップクリームとローションは、珍しいうえに価格が手ごろでお土産にお勧めです。https://prairieedge.com

プレジデンツ・インフォメーションセンター
631Main St. にあるこのセンターには、ホワイトハウスの大統領執務室さながらの部屋や展示があり、ダウンタウンに立ち並ぶ大統領の銅像のパンフレットがもらえます。

メインストリートスクエア
様々なイベントが開催される市民の憩いの場所。スクエアを飾るパブリックアートは、国際的に活躍する京都出身カリフォルニア州在住の彫刻家ナガセ・マサユキ氏の作品です。
http://mainstreetsquarerc.com

【この他のラピッドシティの見所】

ブラックヒルズゴールドの工房見学
サウスダコタの「州を代表するジュエリー」に指定されているブラックヒルズゴールド。ピンクや緑色の金を使い葡萄のモチーフが特徴のジュエリー。工房見学を行う会社が数社あります。

ジャーニーミュージアム
ブラックヒルズの歴史や文化を時代やテーマ別に分かりやすく展示した博物館で必見です。
http://journeymuseum.org/visit/hours-admission/

① 交差点に歴代大統領の像があるラピッドシティ
② 第3代大統領 T・ジェファーソンの像
③ 国家歴史登録財のホテル・アレックスジョンソン
④ 4人の大統領の顔が彫られたマウントラッシュモア
⑤ 朝日に照らされる午前9時前後が最も美しく見える時間帯
⑥ リンカーン・ボーグラム ビジターセンター

⑦ プレジデンシャルトレイルのボードウォーク
⑧ ニードルズハイウェイの奇岩 ニードルズ・アイ
⑨ 大統領の像が額縁の絵に見えるアイアンマウンテンロード
⑩ ブラックヒルズの歴史を展示するジャーニーミュージアム
⑪ 全米第2位の広さを誇るカスター州立公園
⑫ 州立公園内ではいたるところでバッファローに出会う
⑬ ワイルドライフループで出会ったプロングホーン
⑭ 西半球最大のマンモスの墓場 マンモスサイト
⑮ ウインドケーブ国立公園のボックスワーク
⑯ 完成すれば世界最大の彫刻となるクレージーホース・メモリアル
⑰ クレージーホース・メモリアルのウェルカムセンター
⑱ クレージーホースの山の麓までいくバスツアー

1日目の行程

成田から1回乗り換えでラピッドシティに到達。アメリカン航空ならダラス経由、デルタ航空ならミネアポリス経由、ユナイテッド航空ならデンバー経由。ちなみにデンバーからラピッドシティまで車で619km、約6時間10分です。ラピッドシティ空港からダウンタウンまでは19km、車で15分です。

ホテルにチェックインした後は、時差解消のためにもダウンタウンの散策がお勧めです。

MEMO
ホテルのフロントで近隣の地図と人気レストランの情報をもらうと良いでしょう。

2日目の行程

この日のハイライトはマウントラッシュモア国立メモリアル（本誌2頁参照）。4人の大統領の顔が朝日に照らされて、最も美しく写真に写る午前9時前後に到着しましょう。先ずはグランドビューテラスから4人の大統領を観賞。次にエレベーターでテラス下の階に降り、リンカーン・ボーグラム・ビジターセンターを見学します。（📷④～⑥）ビジターセンターのシアターで20分おきに上映されるビデオ『マウントラッシュモア』（14分間）は必見です。ミュージアムでは彫刻家ボーグラムや、土木工事ともいえる彫刻に関する興味深い展示が見られます。

そしていよいよプレジデンシャルトレイルの散策です。グランドテラスの脇から時計回りがお勧めです。プレジデンシャルトレイルは、とても気持ちの良いボードウォーク。彫刻を至近距離から様々な角度で見上げると、新たな感動に満たされます。一周960m、ゆっくり歩いても30分。絶対お勧めのトレイルです。（📷⑦）

ラピッドシティにはブラックヒルズの名物ハイウェイを経由して戻ります。

この名物ハイウェイとはピーター・ノーベック・ナショナル・シーニックバイウェイのこと。ニードルズハイウェイとアイアンマウンテンロードという2本の個性的な道から構成される景観道路で、カメラ好きにはたまらない景色が続きます。

マウントラッシュモアから244号線を西に移動し、385号線に出て少し南下するとニードルズハイウェイ（87号線）に入ります。やがて花崗岩に囲まれた神秘的な湖シルバンレイクに到着。湖のほとりにあるシルバンレイクロッジのレストランで昼食です。昼食後、時間があれば湖畔の散策やジェネラルストアをのぞいてみましょう。

シルバンレイクから先は花崗岩の尖塔群と針葉樹林が織り成す圧巻の景色が続きます。ハイライトはニードルズ・アイ（針穴）と名付けられた巨岩。全長23kmの道ですが通過には1時間かかります。（📷⑧）ニードルズハイウェイから、カスター州立公園を横断する国道16A（16km）を経由して、アイアンマウンテンロードに入ります。

道そのものが芸術と言われるアイアンマウンテンロードは、急激に高度を上げるために用いられたピッグテイル・ブリッジと呼ばれる珍しい工法と、マウントラッシュモアの4人の大統領の像が「額縁に収まる絵」のように見えるトンネルが3箇所あることで有名です。しかしトンネルが極端に小さいので、バスなどの大型車両は通行できません。距離は27kmですが、カーブが多く、通過には1時間前後かかります。（📷⑨）

午後3時までにキーストンに到着できれば、30分ほど街の散策を楽しみましょう。

ラピッドシティに戻り、ジャーニーミュージアムを見学。この地域の理解が深まり、残りの観光に役立ちます。（📷⑩）

MEMO
品揃え豊かなギフトショップや、4人の大統領の眺望が素晴らしいレストランもお楽しみください。

3日目の行程

この日の観光は盛りだくさんです。朝一番に訪れるのは、全米第2位の広さを誇るカスター州立公園。ここは野生動物の宝庫です。

東京山手線内側の面積に、大阪市を加えたほどの広さ（287平方キロメートル）があるカスター州立公園は、北部は針葉樹林に覆われた丘陵地帯、南部には広大な草原が広がります。（📷⑪～⑬）

この草原地帯に設けられたワイルドライフループをドライブしながら、野生動物ウォッチングを楽しみます。バッファロー、プレーリードッグ、プロングホーン、ロバなどはよく見かける動物です。運が良ければ鹿、コヨーテ、ビッグホーンシープ、マウンテンゴート、エルクなどにも遭遇できます。

ブラックヒルズは地下も魅力に溢れています。金をはじめ貴重な鉱物や石も産出します。国立公園や国立モニュメントに指定されるほど立派な洞穴もあります。次に訪れるのは世界を驚かせた発見があった場所です。

それがホットスプリングスの街にあるマンモスサイトです。2万6千年前の氷河期を生きたマンモスの化石が大量に埋まっているのです。2015年に61体目の化石が掘り出されましたが、それでも全体の25％にしかすぎず、西半球最大のマンモスの墓場といわれています。この化石発掘現場を建物で覆い、今でも発掘が続いています。見学はまず10分のビデオを見た後、ガイド付きツアー（30分）でマンモスが埋まっているシンクホールの周りを見学します。ここで発掘された化石の展示ホールもお見逃しなく。（📷⑭）

午後はカスター州立公園の地下に広がる、世界で初めて国立公園に指定（1903年）された洞穴、ウインドケーブ国立公園を観光します。方解石が作り出すボックスワークが特徴で、世界のボックスワークの95％がこの洞穴にあるといわれています。洞穴の総延長は214km、世界で最も長い洞穴トップ10の一つです。洞穴を見学するツアーはいくつかありますが、お勧めは1時間15分のナチュラルエントランス・ケーブツアーです。ツアーのチケットは先着順です。（📷⑮）

MEMO
洞窟内部は一年を通して摂氏11度ですから、ジャケットと滑りにくい靴をご用意ください。

そしていよいよこの日のハイライト、クレージーホース・メモリアル（本誌8～11頁参照）を観光します。

まずはウエルカムセンターのシアターで上映する『ダイナマイトと夢』（22分）を鑑賞。ウエルカムセンターの横から出発する、クレージーホースの山のふもとまで行くバスツアー（往復25分）は、どのタイミングでも良いでしょう。（📷⑯～⑱）

ウエルカムセンターの奥には、北米インディアン博物館、ネイティブアメリカンカルチャーセンター、彫刻家である故コーチャック・ジオルコウスキーの自宅兼スタジオやワークショップ、など様々な見所があります。

クレージーホースを正面に見る広々としたベランダに面して、大きなギフトショップ、そして彫刻を眺めながらお食事ができるレストランとスナックショップがあります。

MEMO
スナックショップのそばには無料のコーヒーが用意されていますので、お楽しみください。

さて、彫刻中のクレージーホースという世界最大のスクリーンに、レーザー光線、照明、映像を投射して音楽と共にナレーションで語られる『光の中の伝説』というショー（27分）は、5月最終金曜日から10月第2月曜日まで、毎日日没後に行われます。夏季の日没時間は、早い日で午後5時30分、遅い日は午後10時と差があります。詳しくはホームページをご覧ください。
https://crazyhorsememorial.org/legends-in-light-laser-show.html

ラピッドシティ広域地図

ワイオミング州 WYOMING　サウスダコタ州 SOUTH DAKOTA
デビルスタワー国立モニュメント Devils Tower N.M.
スピアフィッシュ Spearfish
サンダンス Sundance
ジレット Gillette
デッドウッド Deadwood
ムーアクロフト Moorcroft
ラピッドシティ Rapid City
ウォール Wall
ピア Pierre
クレージーホース・メモリアル Crazy Horse Me.
マウントラッシュモア国立メモリアル Mt.Rushmore N.Me.
バッドランズ国立公園 Badlands N.P.
ニューキャッスル Newcastle
カスター Custer
カスター州立公園 Custer S.P.
ジュエルケーブ国立モニュメント Jewel Cave N.M.
ウインドケーブ国立公園 Wind Cave N.P.
ホットスプリングス Hot Springs

バッドランズ国立公園の星空

ジョン・F・ケネディ大統領の像

クレージーホース・メモリアル

マウントラッシュモア国立メモリアル

4日目の行程

アメリカで初めて国立モニュメントに制定されたデビルスタワーがこの日のハイライト。1977年に公開された映画『未知との遭遇』で一躍世界的に有名になりました。ロッククライマー達にとっても人気の岩で、年間5千人ものクライマーが挑戦します。（①〜②）

デビルスタワーの不思議な姿は、約5千万年前に地中で固まったマグマが、数百万年の時を経て、周辺地域が浸食されたことから露わになったものです。超高温のマグマが冷える過程で柱状節理が起こり、デビルスタワーはまるでスパゲッティーを束ねたかのように6角形の柱で覆われています。高さは264m、海抜1558mです。

デビルスタワーはネイティブアメリカンの聖地です。この不思議な岩を一周するタワートレイル（2km／1時間）は、歩く人々に深い癒しを与えてくれる、お勧めのトレイルです。（③）

> **MEMO**
> 入り口付近にプレーリードッグのタウン（巣）があります。愛らしい姿は一見の価値あり。撮影スポットとしてお勧めです。

ラピッドシティに戻る途中、街全体が米国国家歴史登録財となっているデッドウッドを訪れます。1875年にデッドウッド渓谷で金が発見されたことからゴールドラッシュが起こり、翌年街として誕生したのがデッドウッドです。西部劇に登場するワイルドビル・ヒコックやカラミティ・ジェーンなど伝説的人物が暮らし、お墓があることでも知られています。（④）

西部の面影が色濃く残るデッドウッドは、立ち寄るだけではあまりにももったいない街です。この街に滞在して観光するブラックヒルズの旅は、また違った面白さを見せてくれる事でしょう。

最も人気がある観光スポットは、映画のストーリーにもなった『サルーンナンバー10』。まるで博物館のような酒場の前では、観光客のために当時の銃撃戦の実演があり、サロンの中ではワイルドビル・ヒコックの最後のポーカーゲームの様子を、俳優をつかって再現してくれます。（⑤〜⑥）

デッドウッドは1989年にギャンブルが公認され、街には80を超えるカジノがあります。その一つが映画俳優のケビン・コスナーと、兄のダン・コスナーが所有するサロン『ミッドナイトスター』です。1階がカジノ、上層階にはレストランやバー、ギフトショップがあります。（⑦〜⑧）

壁一面に展示されているケビン・コスナー出演映画のポスターと衣装、特に日本語のポスターや、好きな映画の展示品を見つけると、誰もが感激してしまいます。レストランのお食事もさすがです。

5日目の行程

この日のハイライトはバッドランズ国立公園。公園の面積（987平方km）は大阪府の約半分の大きさです。まさに「悠久の自然の営みが大草原に施した芸術」を見ることができる場所です。

まるで月世界のような景色や、季節によっては草原の緑と荒地の見事なコントラストや、カラフルな美しい地層に目を奪われます。ここにも多くの野生動物が生息しています。夕焼けの美しさや、夜の星空も素敵です。

バッドランズ国立公園は、Northeast Entrance（ノースイーストエントランス）から入場します。少し進むと左手にドアトレイル（800m、30分）や、ウィンドウトレイル（400m、20分）のサインがあります。平坦で誰でも歩ける距離なので、散策をお楽しみください。車で移動してベン・レイフェル・ビジターセンターに立ち寄りましょう。バッドランズ国立公園を紹介するとても良い展示があります。（⑨〜⑫）

バッドランズは東西に長い国立公園です。園内を通るバッドランズ・ループロード（ハイウェイ240号線）は、公園の Northeast Entrance から Pinnacles Entrance（ピナクルスエントランス）まで約43km。停まらないで走行すると所要時間は約1時間ですが、時間が許す限り展望台に立ち寄って景色を楽しみましょう。（⑬〜⑭）

> **MEMO**
> お勧めの展望台はビッグバッドランズ、パノラマポイント、イエローマウンズ、ピナクルス。

帰路は Pinnacles Entrance からラピッドシティに向います。I-90の入り口（Exit-110）の近くにある世界最大のドラッグストア『ウォールドラッグ』に立ち寄れば、昼食やお土産のショッピングができます。名物のチョコレートファッジは絶品でお土産に最適。ドーナツも有名です。（⑮）

午後はラピッドシティで観光やショッピングをお楽しみください。（⑯〜㉓）

6日目→7日目

ラピッドシティから帰国。日付変更線を超えて成田国際空港に翌日到着。

ブラックヒルズには、まだまだご紹介しきれないほどたくさんの観光スポットがあります。1880年代のSLの旅や野生馬の観測などはその一例です。

ここにご紹介する日程が、ブラックヒルズへの旅行をご計画になる方々のお役に立つことを願っています。

キーストンとヒルシティを結ぶSLの旅

ラピッドシティを拠点とするブラックヒルズの旅
（ラピッドシティのホテルに5泊・7日間）
※ 距離と時間はおおよその目安

1日目　ラピッドシティ到着日

	日本から飛行機でラピッドシティへ
夕方	ホテルにチェックイン。街を散策

2日目　マウントラッシュモア国立メモリアル

08:00	ホテルからマウントラッシュモアへ（37㎞/40分）
08:40	マウントラッシュモア国立メモリアルの観光 プレジデンシャルトレイル（960m/30分）を歩く
10:40	マウントラッシュモアからシルバンレイクへ（25㎞/40分）
11:30	シルバンレイクロッジで昼食
12:30	ニードルズハイウェイとアイアンマウンテンロードを観光（65㎞）
15:00	キーストンに到着。街を散策
15:30	キーストンからラピッドシティへ（32㎞/25分）
16:00	ラピッドシティ着。ジャーニーミュージアムなどを見学
18:00	ホテル到着

3日目　カスター▷マンモスサイト▷ウインドケーブ▷クレージーホース

08:00	79号線と36号線でカスター州立公園へ（50㎞/40分）
08:40	カスター州立公園に到着。ゲームロッジでトイレ休憩
09:00	Wildlife Loop Road（29㎞）にそって野生動物ウォッチング 87号線に入り南下（40㎞）して、マンモスサイトへ
11:00	マンモスサイトに到着。館内のガイドツアーに参加
11:50	ホットスプリングスのダウンタウンへ移動して昼食
13:00	ウインドケーブ国立公園へ（18㎞/20分）
13:20	ウインドケーブ国立公園着。Cave Tour のチケット購入
14:00	Natural Entrance Cave Tour に参加（1㎞/1時間15分）
15:30	ウインドケーブ国立公園からクレージーホースへ（42㎞/35分）
16:05	クレージーホース・メモリアルに到着 山のふもとまで行くバスツアー（25分）に参加
17:30	クレージーホースからラピッドシティへ（59㎞/50分）
18:20	ホテル到着

《 夜のレーザーライトショーを観賞する場合 》

夕刻	クレージーホースのレストランで夕食
日没	レーザーライトショー「光の中の伝説」（27分）
終了後	クレージーホースからラピッドシティへ（59㎞/50分）
夜遅く	ホテル到着

4日目　デビルスタワーとデッドウッド

08:30	デビルスタワー国立モニュメントへ（176㎞/1時間50分）
10:20	デビルスタワー到着。タワートレイルを散策（2㎞/1時間）
12:00	デビルスタワー周辺で昼食
13:00	デビルスタワーからデッドウッドへ（123㎞/1時間20分）
14:20	デッドウッドに到着。デッドウッドの観光
17:00	デッドウッドからラピッドシティへ（67㎞/50分）
17:50	ホテルに到着

5日目　バッドランズ国立公園

08:30	ホテルからハイウェイI－90カクタスフラット経由、バッドランズ国立公園の Northeast Entrance へ（126㎞/1時間10分）
09:40	バッドランズ到着。ドアトレイルのハイキング（約30分） 全長約64㎞のバッドランズ・ループロードを観光
12:30	公園西側にある Pinnacles Entrance に到着 Pinnacles Entrance からウォールの町へ（13㎞/15分）
12:45	世界最大のドラッグストア『ウォールドラッグ』で昼食と散策
14:00	『ウォールドラッグ』を出発、ラピッドシティへ（88㎞/50分）
14:50	ホテルに到着。ラピッドシティの観光

《 マウントラッシュモアのライトアップセレモニーを見学する場合 》

19:00	ラピッドシティからマウントラッシュモアへ（37㎞/40分）
19:40	マウントラッシュモアの『カーバーズカフェ』で夕食
21:00	ライトアップセレモニー（5月中旬から8月10日前後） （8月10日前後から9月下旬は20：00スタート）
21:40	マウントラッシュモアからラピッドシティへ（37㎞/40分）
22:20	ホテルに到着

6日目　ラピッドシティから帰国

7日目　成田国際空港に到着

① デビルスタワー国立モニュメント

② デビルスタワーには年間5000人ものロッククライマーが挑戦する

③ デビルスタワーを１周するタワートレイル

④ 西部劇に登場するようなデッドウッドの街

⑤ 人気の観光スポット『サルーンナンバー10』の看板

⑥ ワイルドビル・ヒコックを演じる俳優

⑦ ケビン・コスナーが経営するサロン『ミッドナイトスター』

⑧ 『ミッドナイトスター』の店内には映画にまつわる展示がある

⑨ 草原と荒地が広がるバッドランズ国立公園

⑩ バッドランズ国立公園に生息するプレーリードッグ

⑪ 入場して間もなく現れるドアトレイル

⑫ バッドランズの展示があるビジターセンター

⑬ バッドランズ国立公園

⑭ イエローマウンズ展望台からのバッドランズ国立公園

⑮ 世界最大規模の『ウォールドラッグ』の名物はドーナツ

⑯ ラピッドシティ市民の憩いの場所メインストリートスクエア

⑰ スクエアを飾るアートは日本人ナガセ・マサユキ氏の作品

⑱ 『プレーリーエッジ・トレーディング＆ギャラリー』の外観

⑲ 『プレーリーエッジ・トレーディング』にあるビーズミュージアム

⑳ バッファローの油で作られたローションはお土産に最適

㉑ ラピッドシティ歴史的建造物の１つ元消防署だったレストラン

㉒ ネイティブアメリカンの名物料理タタンカシチュー

㉓ 州のデザート「クーヘン」にイチゴを添えた一品

㉔ ラピッドシティのメインストリート

史上最大級の

サウスダコタ州クレージーホース・メモリアル

彫刻プロジェクト

4人の大統領の巨大な顔が刻まれたマウントラッシュモア国立メモリアルは、CMや映画の舞台として数多くのメディアに登場し、世界的に有名な記念碑です。そこから車で約30分の距離に、ネイティブアメリカンの英雄であるクレージーホースの巨大な顔が刻まれていることをご存知でしょうか。現在建設中だというこの像は、すべてが完成すればピラミッドの大きさに匹敵し、高さ171m、幅195m、マウントラッシュモアの4人の大統領をしのぐ世界最大級の彫刻となります。

写真／星野 修　Crazy Horse Memorial（クレージーホース・メモリアル）　文／芥 真木

サウスダコタ州ブラックヒルズの山で彫刻が進められているネイティブアメリカンの英雄クレージーホース。最初のノミが入れられたのは1948年だ

© Crazy Horse Memorial
Korczak, Sc.
1/34th scale model

SOUTH DAKOTA
サウスダコタ州
Spearfish スピアフィッシュ
Deadwood デッドウッド
Rapid City ラピッドシティ
Wall ウォール
Newcastle ニューキャッスル
Custer カスター
Hot Springs ホットスプリングス
マウントラッシュモア国立メモリアル Mt.Rushmore N.Me.
クレージーホース・メモリアル Crazy Horse Me.
バッドランズ国立公園 Badlands N.P.
カスター州立公園 Custer S.P.
ウインドケーブ国立公園 Wind Cave N.P.
WYOMING
SOUTH DAKOTA

741段の階段を上り下りする日々

コーチャックは1947年の5月3日にブラックヒルズに到着し、道もなければ建物もない原始林の中にテントを張って7か月暮らし、クレージーホース彫刻プロジェクト構想を練りました。そして1948年6月3日、クレージーホース記念碑は、プロジェクトのスタートを祝ったのです。このときコーチャックは40歳でした。

当時、コーチャックは所持金が174ドル。この仕事のために中古のコンプレッサー（圧縮機）を買い、ひとりで毎日こつこつと彫り始めました。作業をしている山の上からコンプレッサーの置かれた山の麓までは741段の階段がありましたが、古いコンプレッサーのため停止してしまうこともしばしば。一日の間に何度か上り下りすることもあったといいます。

ブラックヒルズが選ばれた理由

クレージーホースは、1876年に政府軍がブラックヒルズからラコタ・インディアン（スー族）を追放しようとしたとき、カスター将軍率いる合衆国第7騎兵連隊を迎え撃ち、全滅させた勇敢な戦士です。若い頃に「常に弱きものを助け、分け与えよ」という天からの啓示を受け、生涯それを実行した偉大な人物でした。

クレージーホースの巨大彫刻のプロジェクトが始まったのは1940年代。ラコタ族の酋長ヘンリー・スタンディングベアが「インディアンにも偉大な英雄がいることを白人達に知って欲しい」と、コーチャック・ジオルコウスキーに手紙で依頼したのが最初でした。

スタンディングベアがコーチャックを選んだのは、彼が1939年にニューヨーク万国博覧会彫刻部門で1位に入賞したこと、そしてマウントラッシュモアで大統領の顔を彫刻するプロジェクトに加わっていたという実績があるためです。コーチャックは、この仕事を依頼されてから7年間勉強し、構想を練りました。そして、ネイティブアメリカンのストーリー（叙事詩）を岩山に彫り、記念碑をつくるべきとの結論を出したのです。

シングル・ジャッキで岩山を彫っている、若い頃のコーチャック・ジオルコウスキー。当時はヘルパーもおらず現代的な道具もなかった。コーチャックは、これらの道具の購入に、私財を投入した

クレージーホース記念碑（Crazy Horse Memorial）の根本概念は「教育」でした。彼はこの仕事に同意したとき、これを人道的使命を帯びたプロジェクトと捉えました。ノースアメリカインディアンの文化や伝統をここに集め、また将来を担う人々に、その理念を伝えていける場所にしたいと考えたのです。

コーチャックは最初、クレージーホース記念碑をつくる場所を、ワイオミング州のティートン地区にしたらどうかと提案しました。ティートンであれば、大統領の顔のあるマウントラッシュモアからも離れているし、またこの地区は岩が硬く、彫刻にも適していたからです。

ところがスタンディングベアは、何世代もの間、神聖な地として崇められてきたブラックヒルズにこだわりました。またコーチャックは彫刻を100フィート（約30m）の高さにすることを提案しましたが、スタンディングベアの望みは、山全体で表現する、これまでにはなかった壮大な彫刻だったのです。

34分の1サイズのクレージーホース像の前に勢揃いしたコーチャック・ファミリー。1968年に撮影されたもの。左からコーチャック・ジオルコウスキーと妻のルース。ジョン、ドーン、アダム、ジャドウィガ、カシミア、アン、マーク、ジョエル、モニーク、マリンカで5男5女、全12人の大家族

1948年6月3日、プロジェクトの「献堂式典」の時に撮影された写真。左はコーチャック・ジオルコウスキー、右はラコタ族の酋長ヘンリー・スタンディングベア。ふたりの後ろにある台座の上には300分の1サイズのクレージーホース像があり、遠くには彫刻予定の岩山が写っている

コーチャックのビジョンに基づいた完成図。クレージーホースの彫刻だけでなく、北米全体のネイティブアメリカンの文化を保存する博物館、総合大学、寮、メディカルトレーニングセンター、スポーツ施設、訪問者用宿泊施設、ウエルカムセンターなどが描かれている。

充実した展示内容の北米インディアンミュージアム

ビューイングベランダからクレージーホースを望む

1998年に完成したクレージーホースの頭部

民間からの寄付で支えるプロジェクト

取りかかって10年以上の長い期間、コーチャックは資金がなく、友人がボランティアで手伝ってくれることはあるものの、その苦労は並大抵のものではありませんでした。

このプロジェクトに対して、連邦政府からコーチャックに1000万ドルの資金の申し入れが2度ありましたが、彼はこれを断りました。1940年代の1千万ドルは、今で言えば100億円に相当します。その理由は「私が生きている間に終わるものではないから」ということでした。

事実、マウントラッシュモアの歴代4人の大統領彫刻プロジェクトは、連邦政府から支援を得て進められていました。しかし、プロジェクトの中心人物であるガッツォン・ボーグラムの死によって、連邦政府からの支援は打ち切られ、結局、彫刻は未完成のままで終わったという経緯があったからでした。

コーチャックはクレージーホースの記念碑は政府ではなく、この記念碑の理念を理解してくれる一般の人々からの寄付で造るべきだと決意しました。そして1949年、ノンプロフィット（非営利）クレージーホースメモリアル財団を設立しました。

これによりクレージーホース記念碑プロジェクトは、これまで多くの人々に支えられ、民間からの寄付と、入場料やギフトショップなどウエルカムセンターの収入によって、今日まで彫刻が進められています。

世代を超えて生き続ける夢

彫刻家コーチャックは、クレージーホース記念碑をつくるにあたり、3つのゴールを掲げていました。一つは山全体を使ってクレージーホースを彫刻すること。二つ目は、北米大陸すべてのネイティブアメリカンの芸術、文化、伝統を保護保全し、次の世代に伝えていくこと。そして三つ目は、ネイティブアメリカンの若者達が文化を継承できるように、教育的文化のプログラムの実践、奨学金制度の導入、そして総合大学とメディカルトレーニングセンターを建設することでした。

コーチャックにとって、この壮大な規模のプロジェクトを進めていくための大きな助けとなったのは、10人の子供を含む彼の家族の理解と協力でした。

1982年に他界したコーチャックの意志を継ぎ、プロジェクトを導きました。男子5人、女子5人の子供達のうち7人がこのプロジェクトに参加し、近年では孫達もチームに加わりました。

コーチャックの死後、それまで馬の頭の完成を優先させていたのを、ルースはクレージーホースの顔に切り替え、1998年に完成させました。長年コーチャックと共に働き、測定を手伝い、岩山を知り尽くしているルースだからこそ指揮がとれたのでしょう。

2000年にウエルカムセンターがオープンし、すでに1983年にコーチャックが建設したインディアンミュージアム・オブ・ノースアメリカとつながりました。博物館には北米大陸に点在する多くの部族から寄贈された素晴らしい芸術品や工芸品の数々が展示され、その素晴らしさと珍しさには誰しもが好奇心を掻き立てられ目を奪われます。

2010年に40名を収容できる宿泊施設が併設された研修センターが完成しました。彫刻の爆破で出来た大量の石と美しいパイン材を使用した内装を見たルースは大変気に入った様子でした。コーチャックの3つ目の大きな夢であるインディアン・ユニバーシティ・オブ・ノースアメリカの第一歩です。

コーチャックとルースは1978年から大学生を対象とした奨学金制度を設立し、1996年からはウエルカムセンターに併設されているカルチャーセンターにおいて大学レベルのコースを開講していました。

2014年にルースが他界しました。コーチャック自身の記念碑設立への深い思いと、その意志を分かちあった妻ルースの献身的な努力の成果は、次の世代に受け継がれ、現在も緩やかな進み具合ながらも、このプロジェクトを確実に完成に向けて前進させています。

コーチャックの人生と功績は大勢の人々に感銘を与え、クレージーホースの世界最大の彫刻の進行は、ネイティブアメリカンに勇気と誇りを与える存在となっています。

◀ウエルカムセンターから山のふもとまで行く25分間のバスツアーがあり、彫刻中のクレージーホースを近くから仰ぎ見ることができる

世界最大のスクリーンに投影されるマルチメディア・▶レーザーショー「レジェンズインライト（光の中の伝説）」

© Crazy Horse Memorial Fnd.

旅を豊かにするイベント

クレージーホースメモリアルでは、毎年5月から10月にかけて多彩なイベントが開催されます。特に人気が高いのは彫刻用ダイナマイトを夜に爆破させる光の祭典「ナイトブラスト」と、クレージーホースの顔まで往復10kmのハイキングができる「フォルクスマーチ」です。いずれも6月と9月、年に2度スケジュールされています。

学校が休みに入る6月初旬から8月下旬は、ネイティブのダンスや実演や講演会など、色々なイベントが組まれます。

日本のお客様にもお勧めしたいのは、メモリアルデイ（5月最終月曜日）からネイティブアメリカンズデイ（10月第2月曜日）まで毎晩行われる「レジェンズインライト（光の中の伝説）」です。

高さ171mという彫刻中のクレージーホースの山に、レーザー光線とアニメーションや画像を投影して音楽と共に語られるメッセージは、サウスダコタの9部族の紹介、クレージーホースメモリアルの歩み、北米大陸のネイティブアメリカンについて、そして最後にアメリカ合衆国への賛辞、といった内容です。

イベントの詳細はホームページをご覧ください：
https://crazyhorsememorial.org/crazy-horse-memorial-special-events.html

クレージーホースのプロジェクトは、民間の皆様からの援助（ファンド）で支えられています。このプロジェクトは、これまで多くの人に支えられ、ゴールに向かって進んできました。記念碑の岩山彫刻、教育と文化プログラムの成功は、皆様のご支援のお陰です。
これからも、コーチャックの夢が生き続けられるよう、皆様のご支援をお願いいたします。
（クレージーホースウェブサイトより）

映画ロケ地を訪ねる旅

サウスダコタ州ブラックヒルズ地域

ブラックヒルズ

風景を楽しむ、ご当地グルメを楽しむ……など旅の楽しみ方は人それぞれですが、映画マニアの私は、ロケ地となった土地を訪ねるのを趣味としています。今回私が選んだのはサウスダコタとワイオミングにまたがるブラックヒルズ地域。ここでは多くの映画が撮影されており、作品に深みを与える役割を果たしています。

写真／星野 修　　文／佐野 みずき

ネイティブアメリカンの聖地 ブラックヒルズの歴史

ブラックヒルズには、紀元前7000年頃から様々なネイティブアメリカンの部族が散在していました。18世紀にスー（ラコタ）族が他の部族を追い出し、パハ・サパ（黒い丘）と名づけ、偉大な精霊の宿る聖地として崇めたといわれます。

1868年、アメリカ政府とスー族の間で「ブラックヒルズ一帯はスー族のものであり、白人の立ち入りは禁止する」という条約が結ばれました。ところがその後、この地域に金の鉱脈が発見され、白人の探鉱者によって条約を無視した侵入が激増。ゴールドラッシュが起こり、スー族の聖地を破壊していったのです。このため、聖地ブラックヒルズを守ろうとするスー族と白人騎兵隊との間で、激しい戦いが繰り広げられました。

1941年に公開された『壮烈第7騎兵隊』は、スー族と騎兵隊の戦いがテーマで、ブラックヒルズの歴史を語る上でぜひ押さえておきたい映画です。第7騎兵隊の記念碑がワイオミング州を抜けたモンタナ州のI－90号線沿いにあり、当時の戦いに思いを馳せることができます。

壮烈第７騎兵隊

1941年／120分／エロール・フリン主演／ワーナー・ホームビデオ

侵略者である白人側に多少都合のよい描写はあるものの、第７騎兵隊がスー族と戦い、壮烈な最期を遂げたという事実に基づいて作られた映画。

サウスダコタを舞台にした映画で絶対にはずせないのが、ケビン・コスナー製作・監督・主演の『ダンス・ウィズ・ウルブス』です。

サウスダコタ州のトリプルUスタンディング牧場の近くでシーンの多くが撮影されたということですが、ほんの少しバッドランズ国立公園も出てきます。ラストシーンはブラックヒルズのスピアフィッシュキャニオンです。

もし『ダンス・ウィズ・ウルブス』ファンなら、インディアン式テント、ティーピーを使ったキャンプを楽しみ、草原にたむろするバッファローの群を眺めて、『ダンス・ウィズ・ウルブス』の世界に浸ってみるのもいいかもしれません。

ラピッドシティの街はずれにあるレストラン『フォートヘイズ』には、映画に登場する前線基地フォートヘイズの建物のセットが、ギフトショップとして残っています。『フォートヘイズ』では、ウエスタンバンドの音楽とショーを楽しみながら、夕食を味わえます。

ラピッドシティから66㎞のデッドウッドという街は、1870年代のゴールドラッシュの時に栄えた街です。この街には、ケビン・コスナーと彼の兄が経営するカジノ＆レストラン『ミッドナイトスター』があります。ここには『ダンス・ウィズ・ウルブス』はもちろんのこと、ケビン・コスナー出演映画で着用した衣装が展示されていて、映画ファンには見逃せない場所です。

『ミッドナイトスター』には映画に使われた様々なものが展示されている

ゴールドラッシュの時代を彷彿とさせるデッドウッドの街

ダンス・ウィズ・ウルブス

1990年／181分／ケビン・コスナー主演／ワーナー・ホームビデオ

白人とネイティブアメリカンの触れ合いをテーマに描かれた、アカデミー賞７部門を受賞した傑作。サウスダコタの魅力と臨場感を十分に伝えてくれる、著者一番のお勧め作品。

ハイライトシーンに登場する４人の大統領の顔

４人の大統領の顔が山肌に刻まれている、マウントラッシュモア国立メモリアルは、誰もが知っている民主主義アメリカの象徴です。マウントラッシュモアに刻まれている大統領は、現在のアメリカ合衆国をつくり上げるために多大な功績を残した人物ばかりです。

ラピッドシティから35㎞（車で約45分）、市内の主なホテルからはマウントラッシュモア観光のバスも出ていて、簡単にアクセスができます。

山麓のビジターセンターには、巨大彫刻ができるまでの経過がパネルで展示されています。大統領の顔の彫刻の９割はダイナマイトで削られ、細かい部分はロープで釣り下げられた作業員によって刻まれたそうです。ビジターセンターでは、彫刻をするプロセスの記録映画を見ることもできるのですが、爆薬の炸裂する工事の様子はとても迫力があり、映画マニアの私にとって興味が尽きませんでした。

マウントラッシュモアは、いくつかの大作に登場し、大きな役割を果たしています。『北北西に進路をとれ』は、サスペンス映画の巨匠、アルフレッド・ヒッチコック監督の作品で、ラストに近いハイライトシーンではマウントラッシュモアが舞台になっています。ヒッチコック監督作品には駄作がないといわれますが、これは特に秀逸といえる作品。この映画のお陰で、多くのアメリカ人がマウントラッシュモアの壮大さと魅力を知ったといわれます。

実際のマウントラッシュモアでは、映画のように、大統領の頭の上を歩くのは不可能ですが、「プレジデンシャルトレイル」を歩けば、大統領の顔にかなり近づくことができます。

マウントラッシュモア国立メモリアルの彫刻は1941年に完成。向かって左から初代大統領ジョージ・ワシントン、第３代大統領トーマス・ジェファーソン、第26代大統領セオドア・ルーズベルト、第16代大統領アブラハム・リンカーン

北北西に進路をとれ

1959年／162分／ケーリー・グラント主演／ワーナー・ホームビデオ

ヒッチコック円熟期の作品で、その後のサスペンス映画に影響を与える程の教科書的な名作。映画に登場する大統領の彫刻は、スタジオに巨大セットが組まれて撮影された。『北北西に進路をとれ』アメリカ版ブルーレイのジャケットには、マウントラッシュモアの４人の大統領の顔がデザインされている。

ナショナル・トレジャー リンカーン暗殺者の日記

2004年／124分／ニコラス・ケイジ主演／ウォルトディズニースタジオ・ジャパン

アメリカの歴史の謎を探る、トレジャーハント系の冒険アクション映画。『ナショナル・トレジャー リンカーン暗殺者の日記』は、シリーズの２作目。

マウントラッシュモアが登場するもうひとつのヒット作は、ニコラス・ケイジ主演の『ナショナル・トレジャー リンカーン暗殺者の日記』です。ネイティブアメリカンによって築かれた「黄金都市」が眠る場所として、マウントラッシュモアが登場しました。

この他、マウントラッシュモアはさまざまな映画に登場し、場面を華やかに彩っています。2004年の『チームアメリカ／ワールドポリス』では、マウントラッシュモアが政府軍の秘密基地として登場。ワシントンの口からは空飛ぶリムジンが、ジェファーソンの顔からはヘリコプターが、ルーズベルトの頭からは戦闘機、そしてリンカーンの口からはジャイロジェットが発進するというユニークなものでした。

余談ですが、日本で一時期一世を風靡した『アメリカ横断ウルトラクイズ』にも、西海岸からニューヨークに至る通過点として、マウントラッシュモアが登場したことがあります。

大草原の中にこつ然と現れるデビルスタワー国立モニュメント

スティーブン・スピルバーグ監督の大ヒットSF映画『未知との遭遇』で、宇宙人の乗ったUFOが着陸場所に選んだのが、ワイオミング州北東部にあるデビルスタワーです。近くを流れる川面からの高さは、360m、ふもとの幅は300m、頂上の幅は85mあります。

大草原の中にこつ然と現れる6000万年の歴史が作り上げた自然の大彫刻のそばに立つと、そのスケールの大きさに圧倒されます。

タワーの周りを一周する約2kmのトレイルを歩けば、映画の中にも重要シーンとして登場したデビルスタワーの裏側に行くことができます。所要時間1時間のお勧めトレイルです。

未知との遭遇

1977年／137分／リチャード・ドレイファス主演／ソニー・ピクチャーズ

宇宙人が地球に現れ地球人とコンタクトを取るスティーブン・スピルバーグ監督の大ヒット作。多くの映画ファンに支持され、ディレクターズカット版が2種類、通常版とファイナルエディション版など様々なタイプのDVDが出ている。DVDディスクの表面には、闇に浮かび上がるデビルスタワーがデザインされている。

高さ360mの偉容を誇るデビルスタワー

草原の中にこつ然と現れるデビルスタワー

トリプルU スタンディング牧場

Devil's Tower N.M. デビルスタワー国立モニュメント / Sundance サンダンス / Gillette ジレット / Moorcroft ムーアクロフト / Spearfish Canyon スピアフィッシュキャニオン / Deadwood デッドウッド / Rapid City ラピッドシティ / Pierre ピア / Wall ウォール / Badlands N.P. バッドランズ国立公園 / ワイオミング州 WYOMING / サウスダコタ州 SOUTH DAKOTA / Newcastle ニューキャッスル / Crazy Horse Me. クレージーホース・メモリアル / Mt.Rushmore N.Me. マウントラッシュモア国立メモリアル / Custer カスター / Custer S.P. カスター州立公園 / Wind Cave N.P. ウインドケーブ国立公園 / Hot Springs ホットスプリングス / Mammoth Site マンモスサイト

西部劇の代表的な作品を撮影したカスター州立公園

カスター州立公園は、全米の州立公園の中でも2番目に大きく、東京都とほぼ同じ大きさです。カスター州立公園でのお勧めは、全長27kmのワイルドライフループ。バッファロー、アンテロープ、プレーリードック、プロングホーン、コヨーテなど、野生動物と遭遇する可能性が高いエリアです。

ウエスタンの名作、ジョン・ウエイン主演の『西部開拓史』に登場する鉄道とバッファローの暴走シーンは、カスター州立公園で撮影されました。全米屈指の野生動物の保護区であり、広大な土地を持つカスター州立公園だからこそ可能となった撮影なのです。

ウインドケーブ国立公園は鍾乳洞の長さとしては世界第4位。ブラックヒルズ地区を旅する時はぜひ訪れて欲しい

カスター州立公園は全米屈指の野生動物保護区

西部開拓史

1962年／165分／ジョン・ウエイン主演／ワーナー・ホームビデオ

4世代に渡る一家の開拓史を5つの物語で綴ったウエスタン大作。出演はジョン・ウエイン、ヘンリー・フォンダなど往年の名優が顔を揃えている。

バッドランズの地球上とは思えない光景が映画を盛り上げる

バッドランズは、その名前のように「荒地」です。悠久の時を経て風と水が大地を削り、鋭い尾根や大小様々なキャニオンをつくりました。

ここで撮影されたのは、ポール・バーホーベン監督のSF映画『スターシップ・トゥルーパーズ』と、マイケル・ベイ監督の『アルマゲドン』。『アルマゲドン』は、ブルース・ウィリスが主演して大ヒット作となりました。いずれの映画でも、バッドランズは他の惑星のシーンで使われています。実際、バッドランズに行ってみると地球上のものとは思えない幻想的な風景が広がり、SF映画の撮影に最適というのがよくわかります。

バッドランズが最も美しく見えるのは、夜明けと夕日の時間帯。バッドランズには様々なトレイルがありますが、初心者に優しいのは東ゲートからすぐのドアトレイルです。距離が短く平坦で、誰でも気軽にバッドランズの魅力を味わうことができます。

アルマゲドン

1998年／150分／ブルース・ウィリス主演／ウォルトディズニースタジオ・ジャパン

公開と同時に世界的に大ヒットしたが、個人的には好きな映画ではない。特に人物描写がチープで、アメリカでラズベリー賞（最悪映画賞）を受賞したのも納得。バッドランズで撮影した小惑星でのシーンは一見の価値あり。

スターシップ・トゥルーパーズ

1997年／129分／キャスパー・ヴァン・ディーン主演／ウォルトディズニースタジオ・ジャパン

ロバート・A・ハインラインの『宇宙の戦士』を映像化した作品。戦闘シーンのクオリティが必要以上に高く刺激が強い。人物描写はていねいで十分に面白い作品だが、虫や刺激的映像が苦手な人にはお勧めできない。

悠久の時を経て風と水の浸食が大草原を削り取った地形が広がるバッドランズ

バッドランズ国立公園

マンモスサイトには西半球で最も多くのマンモスの化石が集まっている

向こうに見える山に彫刻されているクレージーホースの姿。手前は彫刻完成後のイメージ

スー族の英雄クレージーホースの生涯を描いた映画が存在する

クレージーホースは実在したスー族の戦士です。ブラックヒルズに生まれ育ったクレージーホースは、ネイティブアメリカン居留地に追いやられることを拒み、最後まで戦い抜いた英雄でした。また、無敵といわれたカスター将軍率いる「第7騎兵隊」を打ち破った時の立役者でもあります。

クレージーホースの生涯を描いた映画『クレージーホース』は、アメリカのテレビで放映されましたが、日本では公開されていません。

マウントラッシュモアからすぐ近くに、クレージーホース・メモリアルがあるので、ブラックヒルズを訪れるならぜひ寄ってみたいものです。

現在、クレージーホースの巨大な像が、60年以上もかけて岩山に彫刻されている途中です。完成すれば、マウントラッシュモアの40倍に届く、世界最大の彫刻になるといわれています。

この他、ブラックヒルズ地域には、たくさんの見所があります。世界4位の長さを誇るウインドケーブ国立公園、マンモスの化石群が集中しているマンモスサイト、ジュエルケーブ国立モニュメントなど、いずれもラピッドシティを中心に、楽にアクセスできます。サウスダコタを訪れる機会があったら、ぜひ回って欲しいアトラクションばかりです。

佐野みずき プロフィール

業界最古参の色彩心理診断士として1975年よりTV、雑誌、インターネットなどの多様なメディアで活動。2006年のワールドカップでは、日本VSチュニジア戦の行方を選手の髪の色で診断、的中させ話題となった。『CanCam』『女性自身』などで連載を行う他、現在はインターネット診断で活躍中。『気づきと癒しのカラーセラピー』『カラー相性診断』など著書多数。www.rays.cx

サウスダコタ州東部の旅
「大草原の小さな家」ゆかりの地と
スーフォールズからラピッドシティへ
地平線までつづく広大なヒマワリ畑

▲一面に広がるヒマワリ畑の迫力に圧倒される

サウスダコタ州最大の観光地は、南西部にあるラピッドシティです。しかし、ラピッドシティより東にも素晴らしい観光地が点在します。州の最東端にあるスーフォールズから、これらの価値ある見所を観光しながら、ラピッドシティへ向かう２泊３日の旅をご紹介しましょう。

写真／星野 修　文／内藤真美子

スーフォールズ　州最大の都市

アメリカ合衆国を東西に横断する州間高速道路I-90と、南北に縦断するI-29が街中で交差することから、スーフォールズは物流の拠点として古くから発展してきました。都市圏の人口は約25万人。以前は採石や農業関連の製造業が中心でしたが、現在は金融、医療、教育、小売業など産業が多様化し、州最大の都市に成長しました。

ダウンタウンから約５km東にスーフォールズ空港（FSD）があります。この空港は、日本から直行便が就航するミネアポリス、デンバー、シカゴ、ダラスなどの都市と、直行便で結ばれています。

▲スカルプチャーウォーク一帯も含めて、ダウンタウンには素敵なお店や、カフェや、レストランがたくさんあり、スーフォールズの滞在を楽しいものにしています。
© スーフォールズ観光局　http://visitsiouxfalls.com

観光の一番人気は、市民の憩いの場でもあるフォールズパーク（滝公園）。年間60万人もの観光客が訪れます。フォールズパークと、街の文化芸術の中心地であるワシントンパビリオンは、スカルプチャーウォーク（彫刻の道）で結ばれています。

その沿道には、毎年全米から参加する彫刻家の作品約50点が一年間展示されます。夏季に行われる人気投票で、第一位に選ばれた彫刻は市が購入するという、芸術家を支援するプログラムで知られています。

ミッチェル　世界唯一・驚きのコーンパレス

コーンパレスはミッチェルという小さな街にあります。人口は約1万5千人ですが、コーンパレスを見に世界各国から訪れる観光客の数は、毎年50万人を越えます。

コーンパレスは、サウスダコタが農業に適した気候に恵まれていることを、世に証明する手段として、1892年に建てられました。サウスダコタが連邦加盟して州に昇格してから僅か3年後のことです。

その後、何度か建て直しや修復や増築をへて、現在のコーンパレスは展示会、コンサート、学校の行事、バスケットボールの試合などが開催される多目的ホールとして、市民に活用されています。

コーンパレスを「世界唯一」の建物にしている理由は、外壁および屋内ともに大きな壁画で飾られていますが、それらがすべて皮を剥いたトウモロコシと、細部はその粒を張り付けて描かれているからです。何という大胆な発想と創造力と技術でしょう。

部分的にこの土地固有の草や他の穀物も使われますが、壁画を描き出す黄、白、茶、オレンジ、赤、黒、青、緑など、13の色彩はその色の実をつけるトウモロコシを用います。↙

▲コーンパレスの営業時間はウエブサイトでご確認ください。コーンパレスは日暮れより毎晩ライトアップされますから、外壁の壁画は夜でも観賞することができます。
コーンパレスの営業時間：
http://cornpalace.com/166/Hours-of-Operation

毎年まずテーマが決められて、それに従って壁画の図案が考案されます。その図案を完成するのに必要な色と量のトウモロコシが発注され、農家が生産を開始します。

コーンフェスティバルが毎年8月下旬に開催されますが、それが終わると外壁の壁画のトウモロコシが全部取り除かれます。無地にもどったキャンバスに、また新しい壁画の制作が始まり、10月初旬に完成します。トウモロコシが鳥に食べられることもありますが、それも自然の生業なので、愛情をもって良しとしています。

室内の壁画は数年に一度、取り替えられます。

デスメット　「大草原の小さな家」ゆかりの地

日本ではNHK総合テレビで、1975年から1982年にかけて放送された、アメリカのテレビドラマ「大草原の小さな家」。その後も数回にわたり再放送されたので、ご存知の方も多いのではないでしょうか。

「大草原の小さな家」は、ローラ・インガルス・ワイルダーが自分の子供時代から18歳で結婚するまでを書いた半自叙伝で「小さな家シリーズ」と呼ばれています。ローラの死後に出版された結婚後の生活を描いた「最初の４年間」を加えると、９冊のうち実に5冊が、ダコタテリトリー（現在のサウスダコタ州）デスメットでの暮らしを描いた作品です。ローラの両親は、デスメットを終の棲家とし、デスメットの墓地に埋葬されています。

デスメットの人口はわずか1000人、いまだに西部の小さな街です。だからこそ、ローラが暮らした時代の面影が、今なお色濃く残っています。

毎年、世界20か国から2万5千人もの人々が、この街を訪れます。

ローラ・インガルス・ワイルダーゆかりの建物を訪れるツアー

ローラがこの世を去った1957年に発足した、ローラ・インガルス・ワイルダー記念会の努力により、物語に登場する測量技師の家、ローラの家や学校、インガルス家の数多くの遺品が大切に保存されています。

▲ゆかりの建物を訪れる約2時間のガイド付きツアーは、ギフトショップから出発します。
Laura Ingalls Wilder Historic Homes:
www.discoverlaura.org

サウスダコタ州東部の旅
スーフォールズからラピッドシティへ

1日目　スーフォールズに到着　（スーフォールズ泊）
ホテルにチェックイン。市内観光

2日目　スーフォールズからピアへ　（ピア泊）

時刻	行程
08:00	ミッチェルへ（118km/1時間10分）
09:10	ミッチェルに到着。コーンパレスを見学
10:15	デスメットへ（114km/1時間15分）
11:30	デスメットに到着。「大草原の小さな家」ゆかりの地で観光と昼食
14:00	州都ピアへ（238km/2時間45分）
17:00	ピアに到着。ホテルにチェックイン。市内を散策

3日目　ピアからラピッドシティへ　（ラピッドシティ泊）

時刻	行程
08:00	ピアからウォールへ。途中ヒマワリ畑を観賞（190~250km/2~3時間）
12:00	ウォールで昼食と観光
13:30	バッドランズ国立公園へ（13km/15分）
13:45	バッドランズ国立公園ピナクル展望台に到着
17:00	ラピッドシティへ（128km/1時間10分）
18:10	ラピッドシティに到着ホテルにチェックイン「大統領たちの街」を散策

※ピアの西を流れるミズーリ川を境に時差が生じる。西へ向かう場合は時計を１時間遅らせ東は１時間進める。時差に関しては、裏表紙の「旅のメモ」をご覧ください。

▲ピアの西を流れるミズーリ川

※バッドランズ国立公園とラピッドシティについては本誌４～７頁をご覧ください。

インガルス・ホームステッド（インガルス家の農場）

１８７９年にデスメットに移住したインガルス一家が、翌年ホームステッド法に基づいて申請し開墾した農場。申請から５年を経て無事条件を満たしたことから、１８８６年に政府から65ヘクタールの農地が払い下げられました。

現在この場所にはビジターセンターが建てられ、物語に出てくる開拓時代の農場体験や、再現された建物を見学できます。

▲農場の中にある家畜小屋から敷地内に移設された学校の建物まで幌馬車に乗る体験ができる。一番人気のアトラクション。
Ingalls Homestead：www.ingallshomestead.com

デスメット墓地

デスメットで生涯を終えた人々が眠る墓地は、林に覆われた小高い丘の上にあり、デスメットの街と大草原が見渡せます。インガルス家の両親、ローラの３人の姉妹、そしてローラとアルマンゾの息子のお墓もここにあります。

「大草原の小さな家」作家　ローラ・インガルス・ワイルダーの世界

「小さな家」シリーズは子供たちに向けて、ローラが 60 歳になってから執筆し始めた物語です。65 歳を迎えた 1932 年から 1943 年にかけて 8 冊の本が出版されました。ローラは1957年、90歳でこの世を去りました。「はじめの4年間」はローラの手記をもとに 1971 年に出版されました。

時代背景

ローラは 1867 年にウィスコンシン州ペピン郊外の、大きな森にひっそりと佇む小さな丸太小屋で、開拓者の父チャールズ・インガルスと母キャロラインの次女として誕生しました。

ローラが生まれた年、アメリカは建国から 91 年を迎えていました。東部 13 州で発足した領土は、1853 年に現在の合衆国本土の広さに到達しました。しかし、本土にある 48 州のうち、西部に位置する 11 州は、まだ人影のない未開の土地でテリトリー（準州）と呼ばれていました。

1861 年、政府はホームステッド法（自営農地法）を発令しました。一定の条件を満たせば、アメリカ西部の未開発の国有地を、一区画（65 ヘクタール）無償で払い下げるという、夢のような法律でした。条件は、申請時に 21 歳以上であること、区画内に家を建て、毎年最低 6 か月はそこに住むこと、そして 5 年間土地を耕し収穫することでした。5 年後、条件を満たしていれば、その土地は開拓者のものになるのです。
この法律はアメリカ人のみならず、ヨーロッパの人々をも魅了し、大勢のヨーロッパ人がアメリカに渡り、土地を手に入れるために西部へ向かいました。

時を同じくして始まった南北戦争（1861-1865）が終わると、大勢の兵士たちも土地を求めて西部を目指しました。

東部と西部を分ける境界線は、大河ミシシッピ。未開の土地はミシシッピ河から西海岸まで広がっていました。そして、ローラの家族も、正にこの時代の大きなうねりの中にいたのです。

▶ローラ・インガルス・ワイルダーの本は日本でも数多く出版されている。

第 1 巻「大きな森の小さな家」

ローラと 2 歳年上の長女メアリーにとって、ウィスコンシン州ペピンの森は驚きに満ちた楽しい遊び場。しかし、危険な野生動物も現れる。家族を守る両親の勇気と愛情、素材から生活に必要なすべてを作り出す英知が、感動を与える。

第 2 巻「農場の少年」

ローラの夫アルマンゾ・ワイルダーの少年時代の物語。1866 年に 9 歳だったアルマンゾは、馬が大好きな少年。ニューヨーク州マローンで大きな農場を営む裕福な一家。住む地域や家庭が違っても、開拓時代の日々の生活は目をみはるものがある。

第 3 巻「大草原の小さな家」

入植者が増えて、森は畑に変わり、野生動物も消えた。この変化を嫌ったインガルス一家は、家財道具を幌馬車に積み、インディアンテリトリー（現在のカンザス州）に移住。その土地で妹キャリーが誕生（1870 年）。しかし、苦労して生活の基盤を作り上げた土地は、後にオーセージ族の居留地だった事が判明。一家はペピンに戻った。

第 4 巻「プラムクリークの土手で」

再び幌馬車に荷物を積み、ミネソタ州ウォルナットグローブのプラムクリークに移住。家を建て、小麦畑の開墾も進んだ。しかし、大草原の自然火災、冬の猛吹雪、春の洪水、次々と災害に見舞われた。極めつけは 1874 年の秋に飛来した数百億匹ものロッキー・トビバッタ(既に絶滅)による壊滅的被害だった。収穫間際の小麦を食い尽くし、卵を産み付け、翌年も収穫直前の小麦を食い尽くした。1877 年、インガルス家の 4 女グレイスが誕生。

第 5 巻「シルバーレイクの岸辺で」

1879 年春、姉のメアリーが病気で失明した。鉄道工事がダコタテリトリー（サウスダコタ州）まで伸びた。父チャールズは、鉄道工事現場の会計係となり、一家はダコタのシルバーレイクに引っ越した。ダコタ・セントラル鉄道が開通すると、大勢の開拓者が殺到。デスメットという街が誕生。インガルスはホームステッドの申請をした。

第 6 巻「長い冬」

1880 年秋から 1881 年春にかけて、歴史に残る記録的な厳しい冬がダコタを襲った。秋の収穫すらまだ始まらない10月に、未曾有の猛吹雪で街は雪に埋まった。猛吹雪は次々とやって来て、街の人々の食料や燃料が枯渇していった。汽車も雪に埋もれて物資の供給が途絶えた。前代未聞の厳しい冬の様子と、ローラの家族や街の人々がどのように生き伸びたのかが、克明に物語に記録されている。物資を積んだ汽車がようやくデスメットに到着したのは 5 月に入ってからだった。

第 7 巻「大草原の小さな町」

1881 年の秋、家族全員が協力して、盲目の姉メアリーをアイオワ州の盲人大学に入学させた。デスメットの街は人が増えて、行政官、裁判官、保安官、学校教育長が選出され、街としての機能を整えつつあった。ローラは姉の学費を支援するため、資格が得られる16歳で教員の免許を取ることを固く心に決めていた。学校は教育の重要性を訴えるため、12 月に発表会を行った。そこでローラは見事な成果を披露した。それがデスメットから19km 離れた開墾地で教師を探しているブルースター氏の目にとまった。郡の教育長がやってきてローラをテストし、年齢を聞くこともなく、3 級教員免許を与えた。

第 8 巻「この楽しき日々」

1882 年の冬 15 歳のローラはブルースター開墾地の学校に教師として着任。任期は冬の間の 2 か月間、給料は 40 ドルだった。盲人大学で学ぶメアリーの授業料として、どうしても手に入れたいお金だった。教師であるローラより年長の生徒もいて、クラスをまとめるのは容易なことではなかった。ローラは下宿先でも辛い思いをした。そして激しいホームシックにもかかった。そんなローラを毎週金曜日の放課後に現れて実家に連れ帰り、月曜日の朝に送ってくれる一人の青年がいた。ローラがアルマンゾ・ワイルダーと結婚するまでのいきさつが描かれている。

「はじめの 4 年間」

1885 年に結婚したローラとアルマンゾは、デスメット郊外のアルマンゾのホームステッドに新居を構えた。若夫婦の幸せな日々や、自然との闘い、突然襲いかかる過酷な運命などが淡々と綴られている。1886 年 12 月に一人娘ローズが誕生。1889 年に誕生した男の子は、2 週間で幼い命を閉じた。

ワイルダー・ウエルカムセンター

デスメットのメインストリート（Calumet Av.）にあり、ローラに関する観光の情報や資料を提供。街から少し離れているシルバーレイクや、墓地や、ローラとアルマンゾが暮らしたホームステッドを巡るツアーもあります。
http://www.desmetsd.com

その他の見所

ローラの両親の家、物語に登場する実在の人物ロフタスさんの雑貨屋、ローラのお父さんが一時働いていた鉄道の駅（現在は博物館）なども見学できます。

ピア　サウスダコタ州の州都

サウスダコタ州は東西に６１０km、南北に３４０km、ほぼ長方形の形をしています。正にその中央に、州都ピアがあります。ピアの西を流れるミズーリ川を境に、東側は中部標準時、西側は山岳部標準時に属します。

ピアの人口は全米 50州のうち、第 46位（81万4千人）。にもかかわらず、州議事堂の立派さに驚かされます。それには、こんな裏話があるのです。

ダコタテリトリーが昇格し、サウスダコタ州が誕生したのは１８８９年のこと。ピアが仮の州都となりました。翌年、投票によりピアは正式に州都に制定されました。

しかし「州都」になりたいと願う街は他にもたくさんあり、州都をピアから移転する法案が何度も議会に提出されました。ついに１９０４年、どの街を州都にするか再度投票が行われることになりました。ピアはこの投票にも勝利し、州議事堂を建設する予算も獲得しました。

州政府は2度とこのような事態が起こらないようにするには、大きくて恒久的に使える立派な州議事堂を建てる必要があると考えました。そして選ばれたのがミネソタ州ミネアポリス市にある Bell & Detweiler 建築会社でした。理由は、この会社がデザインしたモンタナ州の州議事堂の設計図に、少し手を加えてサウスダコタ独自のものにすれば、図面を作成するコストも時間も節約できると考えたからです。

１９０５年に着工し、１９１０年に素晴らしい州議事堂が完成しました。建設に要した費用は１００万ドルでしたが、もし今建てるとしたら６千万ドルは必要だと言われています。

州議事堂は外観にも増して内装も格調高く、壁画や絵画や彫刻はサウスダコタ州のシンボルやモットーや歴史を題材としたものが多く、一見の価値があります。就任式の晩餐会に歴代知事夫人が着用したガウンのミニチュアが写真と共に展示されている「ファースト・レディー・ガウン・コレクション」は、特に女性に人気です。

議事堂の敷地は広大で、前面には花が植えられた庭園、右側には野鳥が飛来する人造湖キャピトルレイクがあります。議事堂の背後はイベントにも使われるヒルガーズガルチ公園、林の中にトレイルが続くガバナーズグローブです。敷地には多くの重要な記念碑が建っています。

ボランティアによる議事堂の中を見学▶する1時間のツアーがある。自由に見学したい人には、見所を説明するB4版小冊子が用意されている。

州議事堂のツアーについて：https://boa.sd.gov/divisions/capitol
ピア商工会議所：www.pierre.org

知られざる絶景　ヒマワリの地平線

ヒマワリの生産では全米第一位を誇るサウスダコタ州。地平線の彼方まで、一面のヒマワリ畑が広がる景色は、圧巻の一言です。

ヒマワリ畑は、ピアを中心に半径１００km以内に集中しています。そのため、ピアはアメリカの『サンフラワーキャピタル』と言っても過言ではありません。

あまり知られてはいませんが、ヒマワリの原産地は北米です。紀元前より先住民はヒマワリの種や葉や茎を食料、薬、染料、建材などに利用していました。

ヒマワリは平均１・５ｍから２ｍにまで成長します。ヒマワリ畑は広大で奥行が深いので、写真を撮る時は、カメラを２・５ｍ程の高さに上げると、果てしなく広がるひまわり畑を撮影できます。ヒマワリは、蕾ができるまでは太陽を追いかけ、花が咲くと、必ず東を向きます。写真を見るとヒマワリが一斉に「カメラ目線」である理由がこれでわかりますね！

花の直径が30cmほどもあるヒマワリは、面と向かうと何か語りかけてくるような不思議な気持になるといいます。ヒマワリの花言葉の一つに adoration（憧れ、敬愛、崇拝）という言葉があります。

ヒマワリ畑は、ピアから半径１００km圏内を走る道路沿いに見ることができます。ピア周辺の14号線や34号線、あるいは83号線沿いでヒマワリを楽しみましょう。

大きく育つヒマワリは、土壌の養分を吸い取り土地が痩せるので、連作ができません。従って、ヒマワリを観賞できる畑は、毎年移動します。ヒマワリは開花すると、２週間のあいだ花を楽しむことができます。開花時期は７月下旬から８月下旬ですが、収穫の時期を計算して栽培されますから、畑によって開花時期が異なります。

ラピッドシティの北西 47kmにあるスタージスの街で、毎年８月初旬に一週間に渡り「スタージス・モーターサイクル・ラリー」が開催されます。50万人もの人々が訪れるこのイベントの期間中は、スタージスやラピッドシティをはじめ、周辺の街も宿泊施設の確保が難しくなります。この時期に訪れる場合は、早めにホテルを予約しましょう。

ヒマワリ開花時期問合せ先：Ms. Alexa Steiner, South Dakota Department of Tourism
Tel: 605-773-3301, Email: Alexa.Steiner@TravelSouthDakota.com

区間	mile	km	時間
ラピッドシティ ⇔ デンバー	387 mile	619 km	6 時間 10 分
ラピッドシティ ⇔ ピア	173 mile	277 km	2 時間 45 分
ラピッドシティ ⇔ イエローストーン東ゲート	445 mile	712 km	7 時間 30 分

(km)

	Badlands National Park North East Gate	Crazy Horse Memori	Custer State Pa	Deadwood	Devills Tower National Monument	Hot Springs	Mount Rushmore National Memorialal	Rapid City
Crazy Horse Memori	184							
Custer State Pa	170	30						
Deadwood	187	83	117					
Devills Tower National Monument	296	186	200	123				
Hot Springs	211	59	59	163	248			
Mount Rushmore National Memorialal	162	26	32	78	213	82		
Rapid City	126	59	66	67	176	91	37	
Wind Cave National Park	211	42	42	122	208	18	64	98

注：距離や時間はあくまでも目安です

サウスダコタ州ベストシーズン

- ワイルドフラワー ▷ 6 月～7 月
- ひまわり畑 ▷ 7 月下旬～8 月下旬
- 紅葉・黄葉 ▷ 9 月下旬～10 月初旬

ラピッドシティ

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温（摂氏）	平均最高	1	1	7	13	18	24	28	28	23	16	7	3
	平均最低	-12	-10	-6	-1	6	11	14	13	7	1	-6	-11
降水量（mm）		7	9	23	50	88	77	69	53	31	40	13	8

サウスダコタ州 旅のメモ

- 目的地までの所要時間は原則的に「1.6km（1 マイル）を 1 分で走行」として計算する。
- 現在の気温や週間天気予報：www.weather .com（摂氏で表示可能）
- ラピッドシティは山岳部標準時間帯にあり、日本との時差はマイナス 16 時間。夏時間の場合はマイナス15 時間。しかし、サウスダコタ州を広範囲にわたって東西に移動する場合は注意が必要だ。ラピッドシティと州都ピアでは 1 時間の時差がある。理由は山岳部標準時と中部標準時を分けるTime Zone Line（切り替え線）がサウスダコタ州のほぼ中央を縦断しているからだ。Time Zone Line の位置は上の州地図で確認できる。
- 資料請求とお問い合わせ先：サウスダコタ州政府観光局　日本事務所
  資料請求 URL：http://www.visitsouthdakota.jp/contact
  ご質問 E メール：info@uswest.tv

州政府が掲げる州のシンボルの中に、旅行者の興味を引くものがある。「州のジュエリー」はブラックヒルズゴールド。150 年もの歴史を持ち、ピンクやグリーンやイエローゴールドを使ってブドウの葉をモチーフにするのが特徴のジュエリー。「州のジェムストーン」は世界で最も美しいメノウと言われるフェアバーン・アゲート。色彩だけでなく縞模様の美しさに定評がある。「州のミネラル」はローズクォーツ。永遠の愛を象徴する人気のパワーストーンで、カスターで最初に発掘されたのは 1880 年。もう一つ面白いシンボルがある。「州のデザート」はクーヘン。フルーツやチーズを加えてイーストを使って作るドイツ風のケーキで、コーヒー味もあり、朝食やデザートに食べる。

サウスダコタ州トラベルガイド

サウスダコタ州トラベルガイドは、
E-BOOK として Web サイトにも掲載されています。
サウスダコタ州トラベルガイドを必要となさる方々には、
下記 URL をご紹介くださるようお願いいたします。

http://guide.visitsouthdakota.jp/

オキナグサ ▲

South Dakota

サウスダコタ州

サウスダコタ州の州旗 ▶

WYOMING ワイオミング州

モブリッジ Mobridge
アバーディーン Aberdeen
ウォータータウン Watertown
Lake Oahe
デビルスタワー国立モニュメント Devils Tower N.M.
スピアフィッシュ Spearfish
サンダンス Sundance
デッドウッド Deadwood
ラピッドシティ Rapid City
ピア Pierre
ヒューロン Huron
デスメット De Smet
ブルッキングス Brookings
カスター Custer
ウォール Wall
ジュエルケーブ国立モニュメント Jewel Cave N.M.
マウントラッシュモア国立メモリアル Mt.Rushmore N.Me.
クレージーホース･メモリアル Crazy Horse Me.
バッドランズ国立公園 Badlands N.P.
チェインバーレイン Chamberlain
ミッチェル Mitchell
スーフォールズ Sioux Falls
カスター州立公園 Custer S.P.
ウィナー Winner
ミズーリ川 Missouri River
ホットスプリングス Hot Springs
ウインドケーブ国立公園 Wind Cave N.P.
ヤンクトン Yankton
山岳部標準時 ◀ ▶ 中部標準時

マウントラッシュモア

コウライキジ

ブラックヒルズゴールド

フェアバーン・アゲート

ローズクォーツ

「州のデザート」クーヘン

サウスダコタ州の基本情報

面積：199,700km2（全米 17 位）
人口：824,082 人　（全米第 46 位）
連邦加盟：1889 年 11 月 2 日（第 40 番目）
人口密度：4.20 人 /km2（46 位）
東西の幅：610km
南北の長さ：340km
最高地点：ブラックヒルズ山中のハーネーピーク（2,207m）
最低地点：州北東端、ビッグストーン湖　(293m)

州都：Pierre ピア
州花：Pasque オキナグサ
州鳥：Chinese ring-necked pheasant コウライキジ
州木：Black Hills spruce 米トウヒ
ニックネーム：The Mount Rushmore State マウントラッシュモアステート
州名由来：ネイティブアメリカンのダコタ・スー族の言葉で「同盟」「友人」を意味する。
スローガン：Great Faces, Great Places

サウスダコタ州政府観光局（日本事務所）

E-mail: info@uswest.tv　URL: http://www.visitsouthdakota.jp
発行企画：South Dakota Department of Tourism　制作：株式会社ウィンブル
© South Dakota Department of Tourism　2017/Printed in USA 禁無断転載・複製